

メッセージ for Kids ～川崎の子どもたちへ～

川崎ブレイブサンダース 藤井祐真選手

皆さんこんにちは。川崎ブレイブサンダース藤井祐真です。

今、僕はシーズンが終了して、次のシーズンに向けて軽いトレーニングだったりをしています。そのトレーニング以外の時間は、テレビゲームだったり、映画・ドラマを見たり、掃除をしたりして、できることをやりながら、暇な時間は自分の趣味をしながら生活しています。

僕の小さい頃は、よく兄と遊んでいました。テレビゲームだったり、外でサッカーだったり、キャッチボールだったり、いろんなことをして遊んでいて、そういう遊びの中で負けたくないとか、そこで負けず嫌いっていう気持ちが本当に出てきて、今こんなに負けず嫌いになったのは、小さい頃、兄と一緒にいろいろやっていたおかげかなと思います。そして、兄がサッカーをやっていた影響で僕もサッカーをずっとやっているんですけど、近所の仲のいい先輩がバスケットをやっていたので、その先輩と普段ずっと一緒に遊んだりもしていたので、先輩について行ってバスケットを始めて、今ここまでバスケットが楽しくプロとしてできているのも、その先輩と出会えたおかげだと思いますし、本当に感謝しています。本当に子どもの頃、いろんなスポーツをやったり、いろんな遊びをやって、その先輩と出会えたことで、何をやるにも意味はあると思ったので、皆さんも是非いろんなことにチャレンジしてみてください。

今まで、いろいろなつらいことがあったんですけど、やっぱり一番つらいのはこの今、外にも簡単に出歩けない、みんなとも会えない、こういう状況の今が一番つらい時かなと思っていて、やっぱり大好きなバスケットもできないですし、そういうところが今までで一番つらい時期かなと思っています。やっぱり、このつらい時をどのように過ごすかというのは本当にすごく今後の自分にとっても意味があることだと思うので、あまりネガティブに考えずにポジティブに捉えて、このコロナの状況が終わった時にこうしておいて良かったと思えるように、そして今後、何があっても、このコロナの状況の時よりは全然つらくないって思えるように、自粛生活をいろいろと自分なりに工夫して、できるだけネガティブなこととは思わずに、常にポジティブに考えながら生活していけたらいいなと思います。

今この大変な状況で、卒業式であったり、全国大会だったり、一生に一度の大きな行事がなくなったりして、子どもたちは本当につらいと思いますし、それを見られない親の皆さんも本当につらいと思います。ただこの状況が1年、2年と本当に続かないためには、みんなが協力して、誰にも周りに広めないっていうことが大切だと思います。そこは本当に川崎一丸となって、みんなまでこの危機的状況を乗り越えましょう。

僕は川崎の子どもたちを応援しています。